



南部町水道事業統合計画

南部町が誕生して、3年目になります。町民の皆さんが普段使用されている水道水を供給している町の水道事業は、別表のとおり南部町上水道事業と8箇所の簡易水道事業、3箇所の飲料水供給施設で運営しています。

南部町における水道事業の一番の問題点は、供給人口が多いため最も需要の大きい南部町上水道の水源取水量が不安定なことです。季節によって取水量が変動するとともに、年間の取水量も開発時に比べて減少しています。

このため、毎年のように渇水期には米子市から有料で分水支援を受け、断水が発生しないように努めている状況です。

この状況を解決する方法として、新たな水源を開発すること

が考えられます。しかし、水道地域内では地質的に良質で豊富な水源は期待できないことが確認されています。また、水道の次に供給人口の多い会見地区簡易水道では、地下水源に恵まれた地域で、諸木水源を開発して、他の湧水水源と併せると

会見簡易水道地域だけでは余裕のある水量がありますが、湧水に依存する水量が多いため、地震のとき水が濁ったという苦い経験があります。

◆問題解決のために

南部町として、南部町上水道と会見簡易水道の二つの水道事業を統合し、水資源を効率的に運用することで、相方のこれまでの問題点を解消することができます。また、水道事業の維持

管理の合理化や財政基盤の強化も期待できます。

◆諸木水源と東西町地区をつなぐ

一つの町で考えれば、水に余裕のあるところから水に苦労しているところへ送水することは、事業を運営するものとして当然に考えることです。

水量に余裕のある会見簡易水道の諸木水源と、上水道給水区の末端で、渇水期には水不足に陥る東西町地区の間に連絡管を布設して、平常時は諸木水源の水を東西町地区へ送水して渇水問題を解消します。

また、この連絡管により会見簡易水道区域の災害時には南部町上水道や米子市水道局からの給水支援も可能となり、水資源

の有効利用と水道利用者の不安の解消を図ることもなります。

◆朝金から落合送水計画

朝金から金田、御内谷、馬佐良を経由して落合浄水場まで連絡管を布設します。

過去の水源調査からまとめた量の地下水が期待できる会見の朝金地内で新規水源を開発し、新しい配水池と落合までの送・配水管、加圧ポンプ等を整備する計画です。新規水源からの連絡管ルート上にある朝金、金田、御内谷地区には配水も行い水圧不足を解消します。

◆既存施設改良・更新計画

南部町上水道と会見地区簡易水道を、北側の諸木く東西町と南側の朝金く落合で連絡し、水資源の効率的運用と水道施設の一体化を図っていき、併せて老朽化している既存施設の改良と

更新を行い、遠方監視装置の導入により維持管理の効率化及び一元化を計画しています。

◆安全で安心して安定的に「水」を「安」く

水道は、生活及び社会経済活動を支える基盤施設であり、安全で安心な水道水を安定的に供給することが求められます。断水等の事故や災害時に対応するための統合計画ですので、利用者の皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

計画は平成19年度から28年度までの10年間の事業で、財政状況により実施事業の内容が変わってきますが、今年度は諸木水源と東西町地区の間に連絡管の布設と、ニュータウンポンプ場の施設更新を行います。

南部町水道概略図

